

4年間の学び

1年次

看護の基本的理念・倫理を体得し
看護者としての基盤を培います。

2年次

必要な知識・理論を身につけ、
個々に合った援助実践方法を学習します。

3年次

各領域における援助方法を修得。
多職種連携への理解も深めます。

4年次

卒業研究を完成させ、
その後は国家試験の準備を行います。

総合基礎科目

必修科目	英語コミュニケーションⅠ～Ⅳ 基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ 化学 情報処理演習					
選択科目	ヒューマンケアのための多職種連携 ふくしとフィールドワーク 福祉社会入門 日本福祉大学の歴史	地震と減災社会 健康・スポーツⅠ・Ⅱ 日本の歴史 心理学 政治学	哲学 グローバル教養 異文化理解 法と社会(日本国憲法) 社会学	聴覚障害者の理解と支援 知多学 ふくしと減災コミュニティ	福祉の力 知多半島のふくし	ふくしフィールドワーク実践(3年次後期)

専門基礎科目

身体と心の働き	人間の形態と機能Ⅰ・Ⅱ 生化学	微生物学 人間工学	ストレス心理学 人間関係論
	疾病と治療	病理学 疾病論(精神系)	疾病論(内科系・外科系・母性系) 臨床検査学 臨床薬理学 臨床栄養学 老年学
	健康支援と社会生活のしくみ	健康管理学 社会福祉学	家族社会学 公衆衛生学 保健行動論

専門科目

看護学 基盤領域	看護学概論(概念・理論・歴史) 看護管理論Ⅰ	看護技術演習Ⅰ・Ⅱ 看護倫理 基礎看護学実習Ⅰ	看護技術演習Ⅲ・Ⅳ 看護過程演習	災害看護 基礎看護学実習Ⅱ
				
看護学 実践領域	成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論	母性看護学概論 精神看護学概論		
	看護学 統合領域	公衆衛生看護学概論 地域看護学概論 在宅看護論 多職種連携論	公衆衛生看護学方法論Ⅰ 地域看護学実習 国際看護論 多職種連携実践論	

◎卒業研究

3年次後期から4年次前期にかけて、学生自身の興味や関心をもとに決定された「研究テーマ」に関する論文作成の一連のプロセスを学習します。その中で、文献検索から文献検討、研究疑問から研究テーマへの絞り込み、研究計画の作成、データの収集と分析、考察について、担当教員とともにじっくり学び、論文提出ののち、卒業研究発表会に臨みます。



卒業研究のテーマの一例(2021年度)

- 基礎看護学『災害時における医療・福祉の組織・職種の課題に関する文献検討』
■成人看護学『救急領域におけるエンゼルケアの現状と課題』
■老年看護学『認知症高齢者に対する回想法に関する文献検討』
■母性看護学『双子の父親の子育てに関する文献研究』
- 精神看護学『Instagramにおける若者の承認欲求について』
■小児看護学『COVID-19蔓延後の家での子どものあそび』
■地域看護学『乳幼児健康診査(1歳6か月児健康診査)における子どもの発達障害を疑う母親への保健師の支援』



成人慢性期看護方法論 成人急性期看護方法論 老年看護方法論 小児看護方法論	母性看護方法論 精神看護方法論 老年看護学実習Ⅰ 小児看護学実習	慢性期看護学実習 急性期看護学実習 老年看護学実習Ⅱ	母性看護学実習 精神看護学実習
在宅看護方法論 看護学研究方法論	在宅看護論実習 卒業研究Ⅰ	看護学統合実習 卒業研究Ⅱ	統合看護基礎技術演習 チーム医療連携演習 国際保健演習 公衆衛生看護学方法論Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 公衆衛生看護管理活動論 保健医療福祉政策論演習 公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ

赤字文字は保健師課程科目(定員あり) 緑色文字は臨地実習科目

4年次

◎看護統合実習

Pick Up講義

4年次前期の最後に履修する「看護統合実習」では、それまでに学んだ看護の専門知識・技術および専門職業人としての態度を統合させ、より難易性の高い対象者に対しての質の高い確実な看護実践を学びます。各看護学領域それぞれの特色ある実習目標が設定され、それを達成するためのさまざまな実習施設での実習や他職種との連携の実際を体験できます。選択領域については、学生の希望を加味して決定し、それぞれ履修します。

4年次

◎チーム医療連携演習

Pick Up講義

少子高齢社会を背景にニーズが高まる地域包括ケアシステム。地域社会において、医療・保健・福祉の各専門職が協働して対応することが求められており、看護職はその中核を担う役割を期待されています。回復期の患者さんを対象とした病院で、入院から退院までの一連のプロセスにおける多職種連携チームアプローチの実践を見学します。さらに、学生同士で具体的な事例を検討することにより、チーム医療における看護職の役割について理解を深め、看護専門職として協働性を発揮できる人材を育成します。